



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

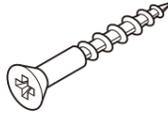
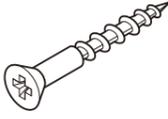
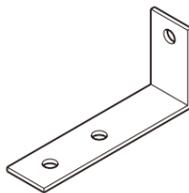
▲注意

- 思わぬケガをするおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・組立て後の製品重量は最大で約150Kg（障子1枚）になります。施工は対応する人数で行ってください。
 - ・FIX障子建込み前、網戸下枠取付け前に可動障子を動かさないでください。障子が脱輪します。（本文中の図参照）
 - ・FIX障子を倒し込むときに、指をはさまないようにしてください。
 - ・FIX障子を倒し込むときに、FIX障子の下側が下枠から外れないようにしてください。
- サッシ下枠が垂下がり、障子脱落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台（敷居）・30mm厚以上の間柱（ピッチ500mm以下）で開口部を作ってください。
 - ・見込み部の取付けねじは必ず、見付け部のねじを固定した後に締付けてください。
 - ・開口部を付け枠などでふかさ場合は、一体物と同じ強度になるように取付けてください。
 - ・必ず指定の木ねじで枠を固定した後、障子を建込んでください。
 - ・下枠補強ブラケットは障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで躯体に取付けてください。
- 漏水の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売品）を張ってください。（本文中の図参照）
 - ・下枠前面には水抜き穴がありますのでふさがないでください。
 - ・浴室には使用しないでください。
 - ・ねじは必ず指定のねじを使用して、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

■取付け上のおお願い

- 本説明書は、枠・障子・後付けカバー材・下枠アングルの取付けの説明をしています。各工程が終了するまで、紛失しないように保管してください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたりキズ付いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 施工前に樹脂形材が外れている場合は樹脂形材をはめ込んでから取付けを行ってください。
- FIX障子を取外す際、ナベワンウェイねじは専用ビット工具（別売品）で外してください。

■取付けねじ一覧表

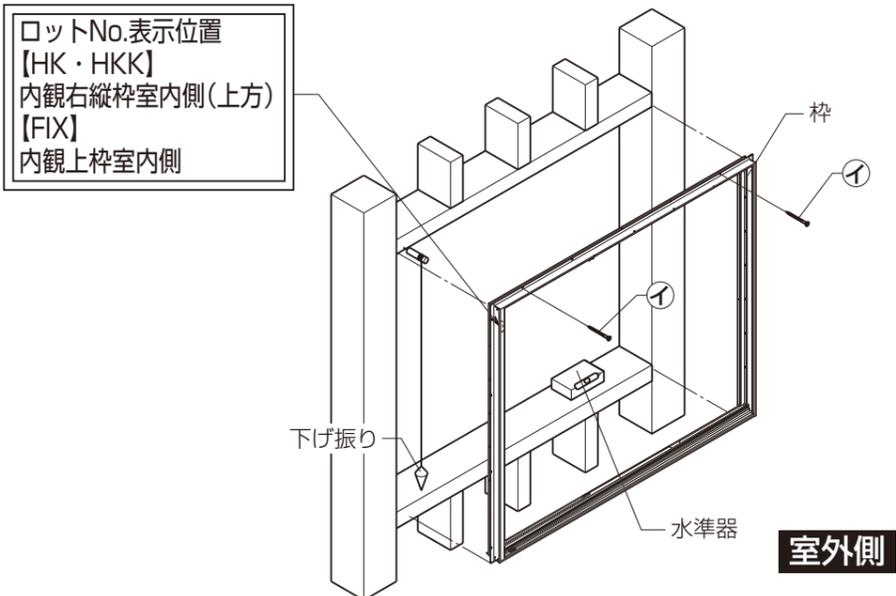
 皿木ねじφ3.8×25 (枠取付け・下枠見込み)	 皿木ねじφ3.8×38 (上枠・縦枠見込み)	 プッシュボタンφ8	 皿木ねじφ3.1×20 (アングル部)	 バインド小ねじM4×12 (FIX障子固定)	 ナベワンウェイねじφ4×12 (FIX障子固定)
 トラスタッピンねじφ4×10 (網戸上枠固定)	 ナベ小ねじM4×30ロック付 (網戸下枠固定)	 平ワッシャー-M4用 (網戸下枠固定)	 ワッシャー付き丸木ねじφ3.5×25 (下枠補強ブラケット固定)	 Lアングル (方立固定 HKKのみ)	 ナベ小ねじM4×12ロック付 (方立固定 HKKのみ)

取付け順序

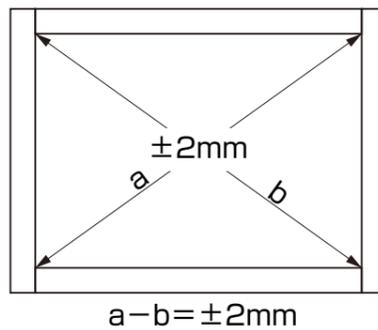
1 枠の取付け

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

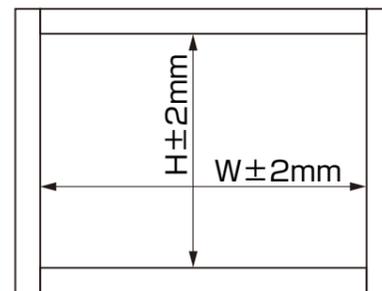
※サッシの水密・気密を確保するために、サッシ固定前に枠の寸法の確認を行ってください。各寸法の誤差は下記寸法以内に行ってください。



●対角寸法の誤差



●枠のはらみ



②下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。

※柱と縦枠および上下枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじや釘で適切なトルクにて締付けます。

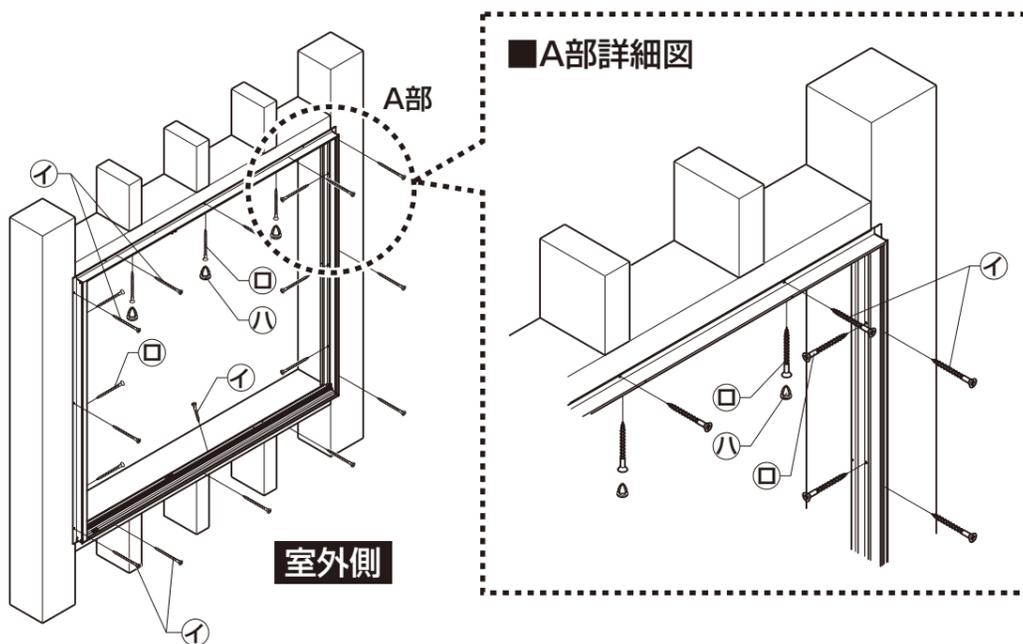
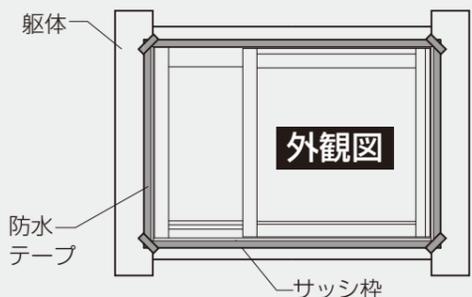
※躯体取付けねじは、障子建込み前に固定してください。

▲注意

- 見込み部の取付けねじは必ず、見付け部のねじを固定した後に締付けてください。

▲注意

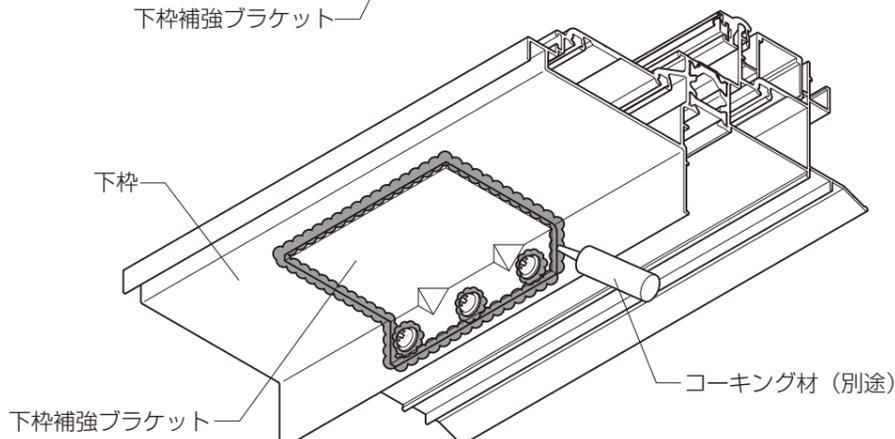
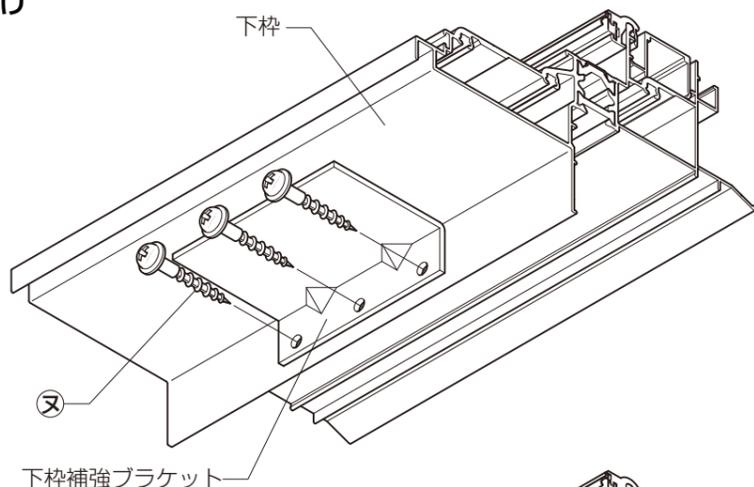
- 本製品取付け後、必ず防水テープ（別売品）を張ってください。



●下枠補強ブラケットの取付け

※一部のサイズに付いている下枠補強ブラケットは障子重量を支える重要な部品ですので、取付ける際には下記事項をお守りください。

- ①サッシ枠を躯体に固定するときに下枠補強ブラケットもねじで躯体に固定します。
- ②下枠補強ブラケットを固定後、指定の箇所（●部）にコーキング材（別途）を充てんしてください。



▲注意

- 下枠補強ブラケットは障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで躯体に取付けてください。

▲注意

- 下枠補強ブラケットを固定後、指定の箇所（●部）にコーキング材（別途）を充てんしてください。

2 障子の建込み (可動障子・FIX障子)

1 事前確認

- FIX障子の建込み、取外しは室外側からしかできませんので、施工中の足場と取付け済みサッシ枠との間に障子を建込むためのスペースと障子を持って人が通れるスペースと人員を確保できることをあらかじめ確認してください。

2 前作業

- 枠の取付け後、障子を建込む前に、下枠上面の清掃を行ってください。

3 障子の建込み

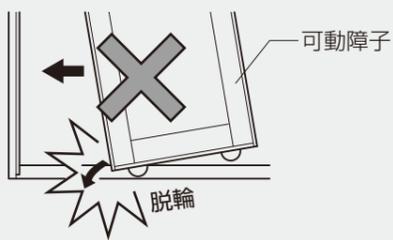
※FIX障子は下図の要領で建込んでください。可動障子の建込みは通常のサッシと同じ要領で建込んでください。

①FIX障子を図の通り下枠に置きます。

※FIX障子をセットする幅方向は下図を参考にしてください。

▲ 注意

- FIX障子建込み前、網戸下枠取付け前に可動障子を動かさないでください。

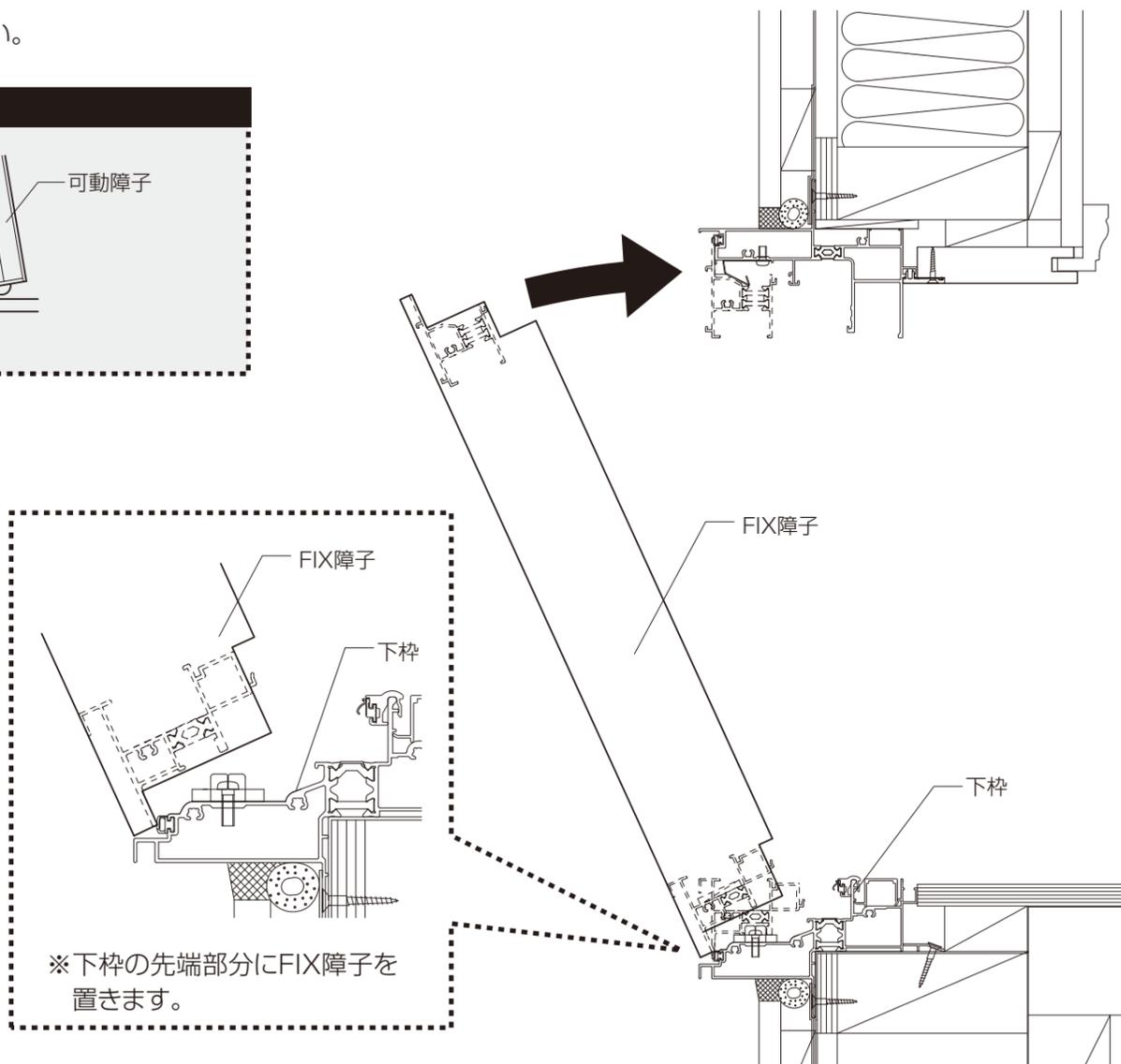


▲ 注意

- FIX障子を倒し込むときに、指をはさまないようにしてください。

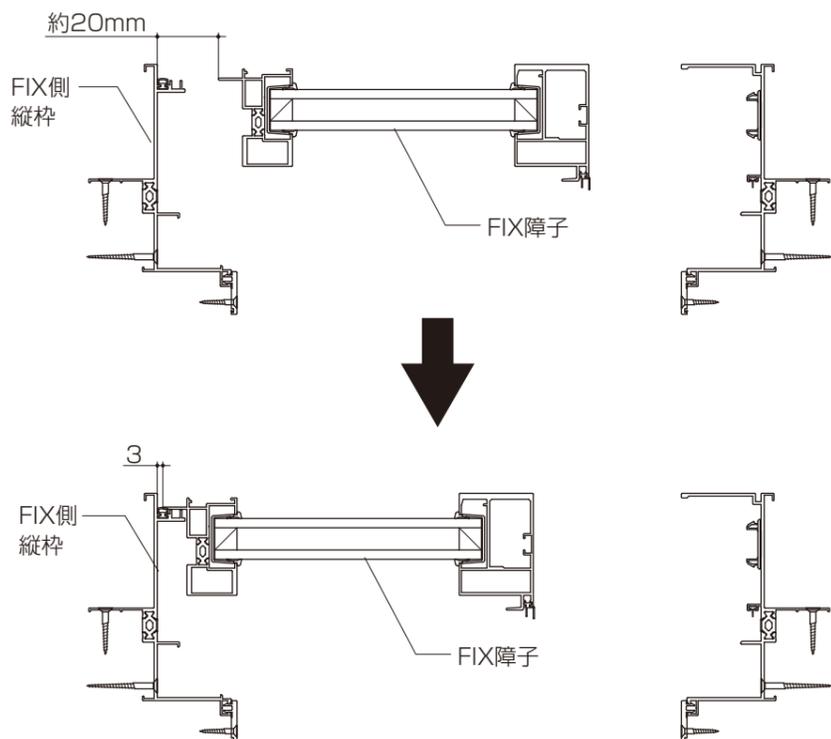
▲ 注意

- FIX障子を倒し込むときに、FIX障子の下側が下枠から外れないようにしてください。

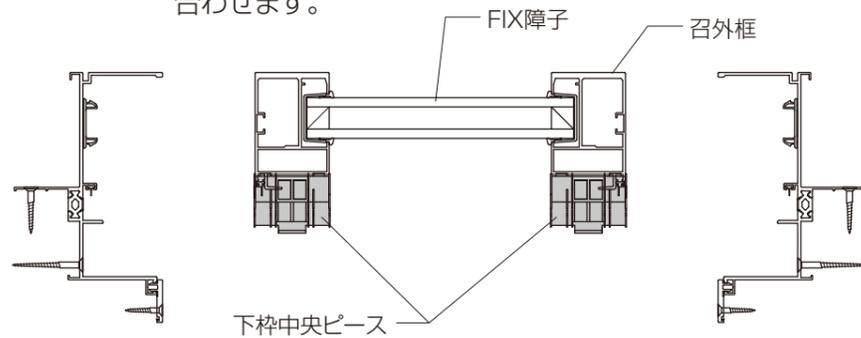


■FIX障子セット位置

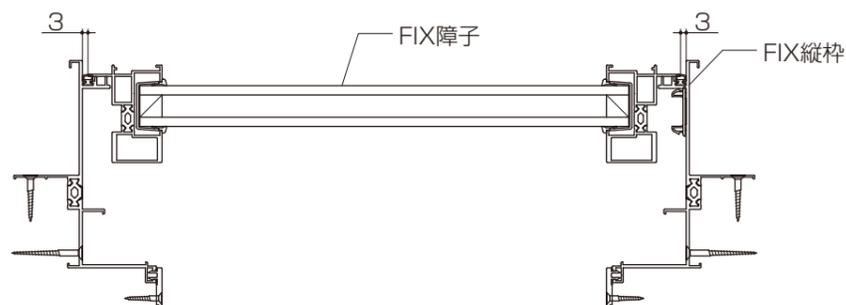
- 【HK】** ※本図はHK-Rタイプです。Lタイプは左右対称になります。下図の通り、FIX側縦枠と障子のチリを20mm程度とってセットしてください。障子建込み後、FIX側縦枠に障子を寄せてください。



- 【HKK】** ※下枠に取付けてある下枠中央ピースと召外框の位置を合わせます。

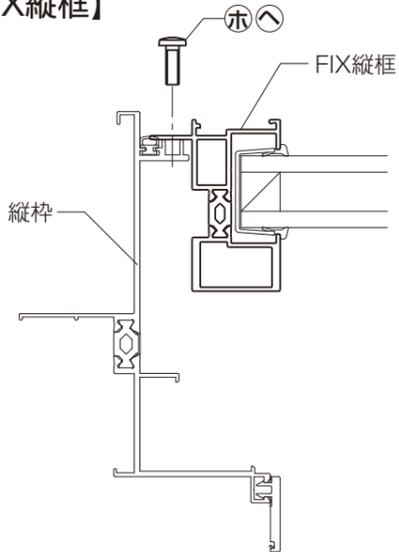


- 【FIX】** ※枠に入るように障子をセットします。

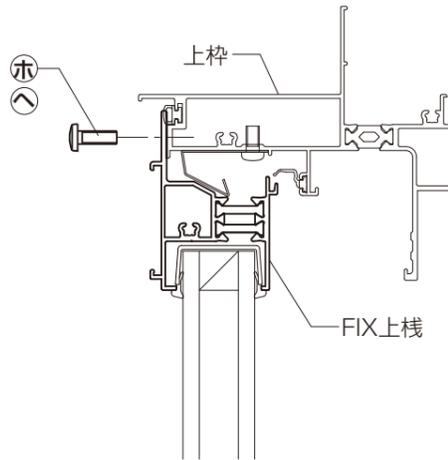


- ②FIX障子を障子が垂直になるまで室内側に倒し込みます。パチンと音が鳴りましたら障子の仮止めは完了です。
 ※前後に軽く揺らして仮止めされていることを確認してください。
 ③FIX障子の幅方向を上枠の取付け穴に合わせて調整します。
 ④FIX障子をバインド小ねじとナベワンウェイねじで固定します。(下図参照)
 ※ねじがきかなくなる可能性がありますので、3.0N・m(30kgf・cm)以下のトルクで止めてください。

【FIX縦框】



【FIX上棧】



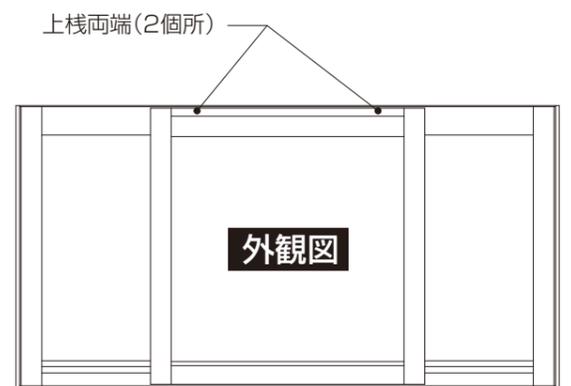
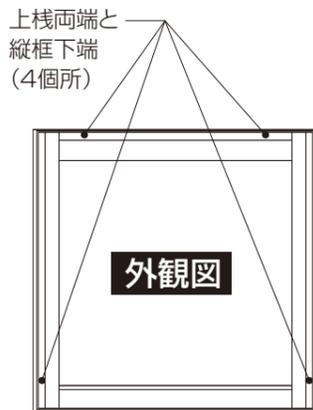
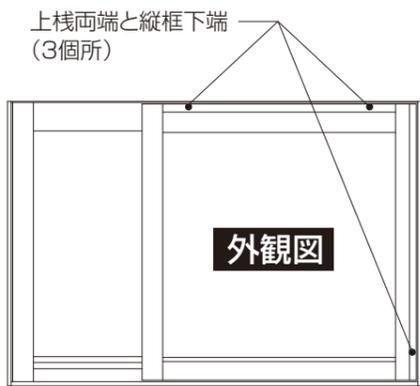
※下図の個所にはナベワンウェイねじを使用してください。

【HK】

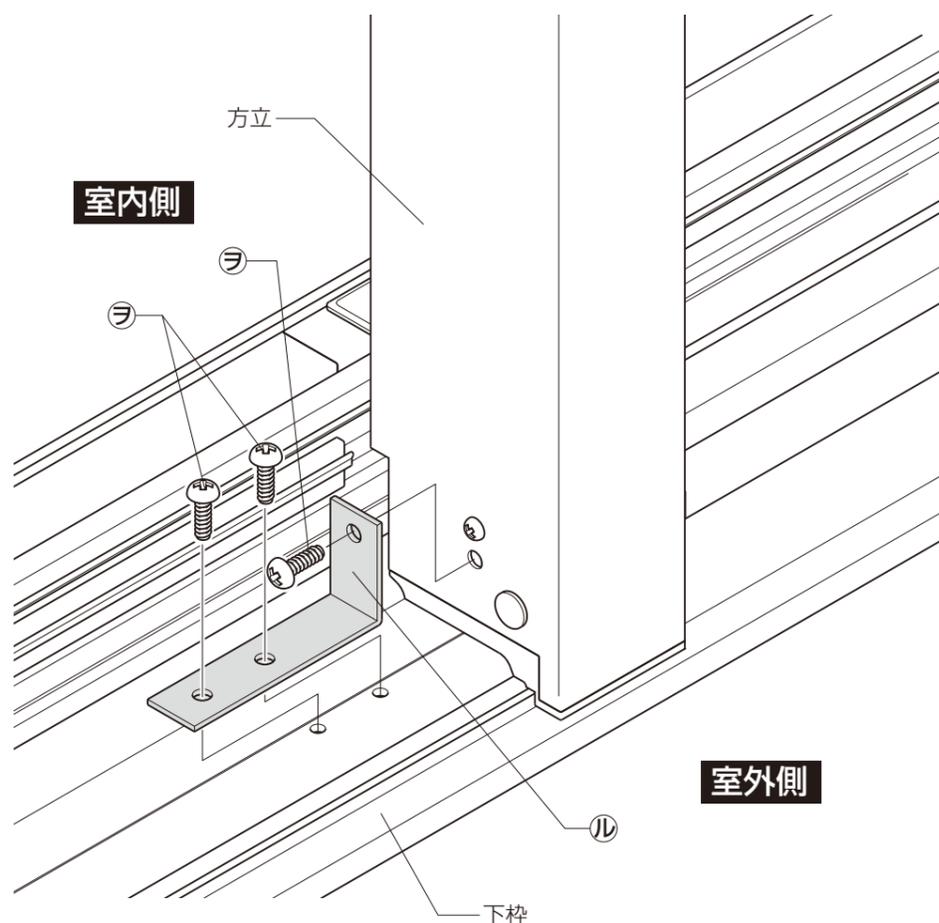
※本図はHK-Rタイプです。
 Lタイプは左右対称になります。

【FIX】

【HKK】



- ⑤【HKKのみ】 Lアングルを方立下部にナベ小ねじで固定します。
 Lアングルの下枠側の穴を下枠の取付け穴に合わせてナベ小ねじで固定します。



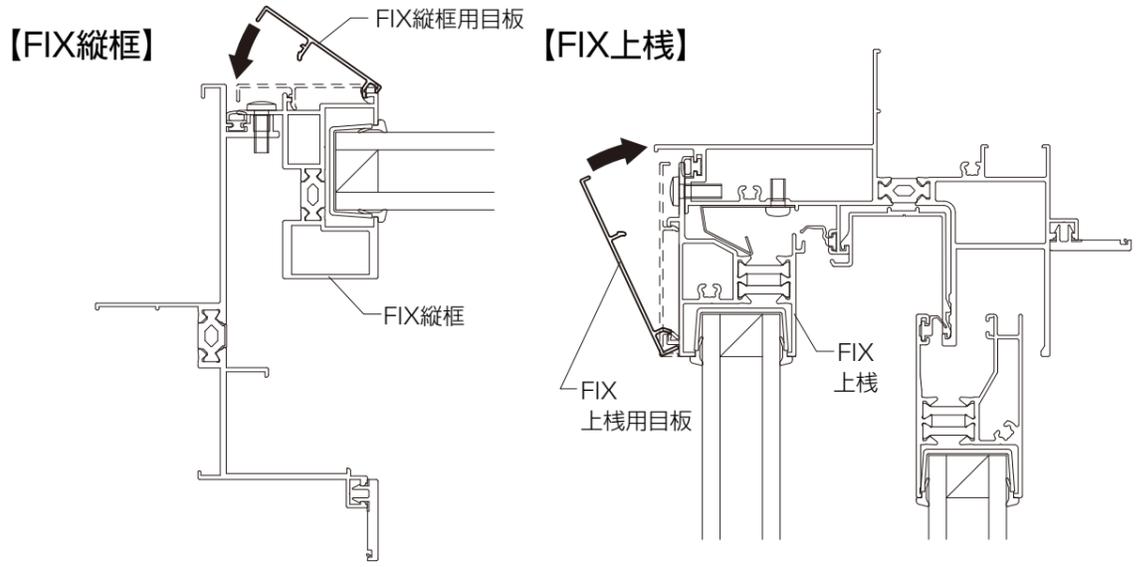
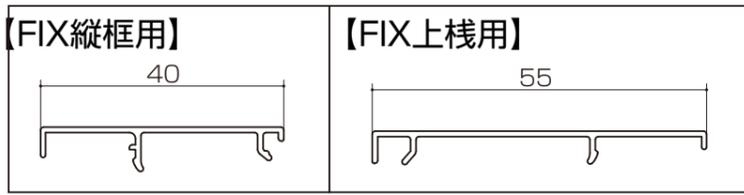
▲ 注意
 ●ねじは必ず指定のねじを使用して、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

3 後付けカバー材の取付け

1 室外目板の取付け

- FIX障子固定後、FIX縦框、FIX上棧の順で目板をはめ込みます。
- ※HKKにはFIX障子縦框用はありません。

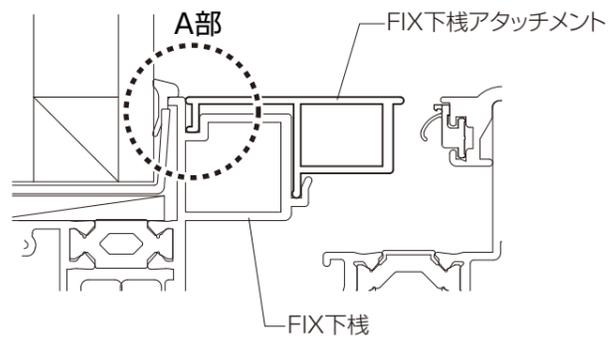
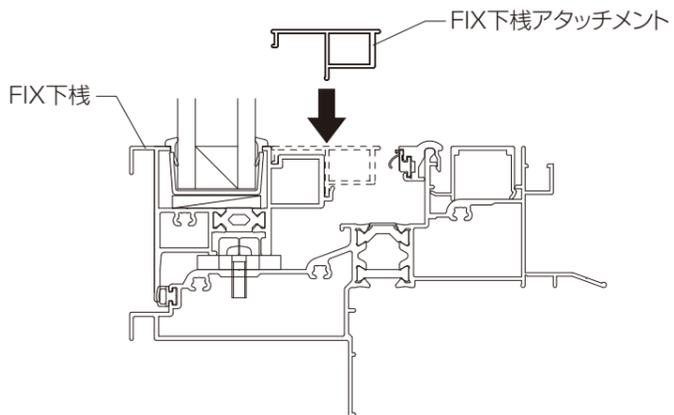
■目板一覧



2 FIX障子下棧アタッチメントの取付け

- FIX障子の下棧室内側にFIX下棧アタッチメントをはめ込みます。
- ※FIX下棧アタッチメントは垂直に落とすようにのせます。

※下図A部がはまっていることを確認してください。

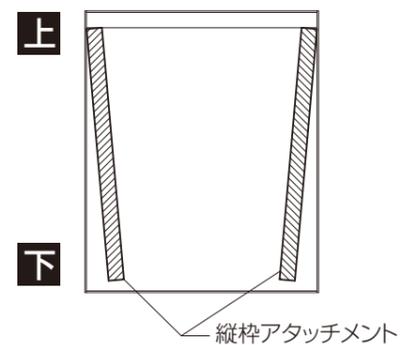
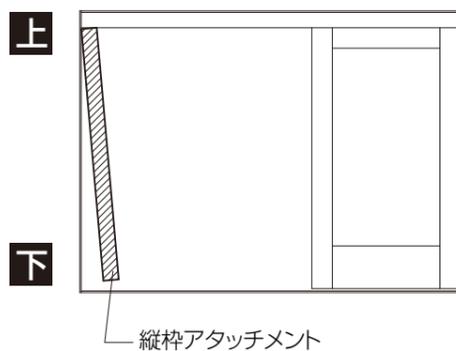
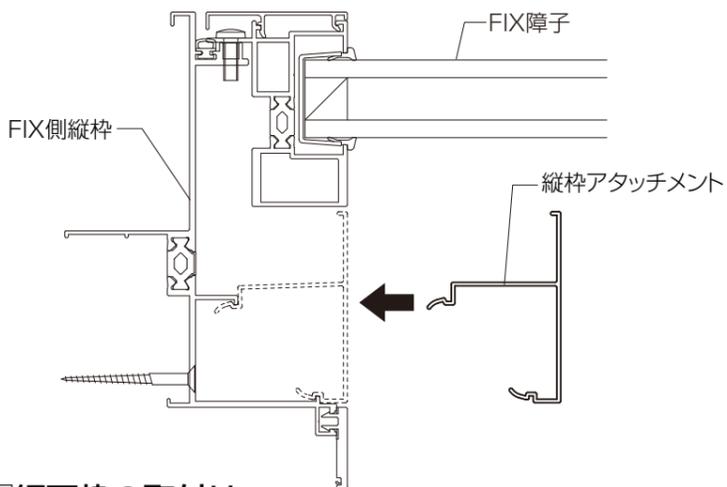


3 縦枠アタッチメントの取付け

- FIX側縦枠（HKKは対象外）に縦枠アタッチメントをはめ込みます。
- ※上側を先に入れ込んでから下を入れてください。

【HK】※本図はHK-Rタイプです。Lタイプは左右対称になります。

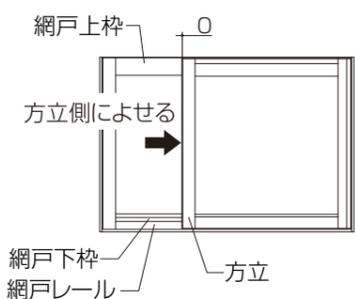
【FIX】※FIXは左右にアタッチメントが付きます。



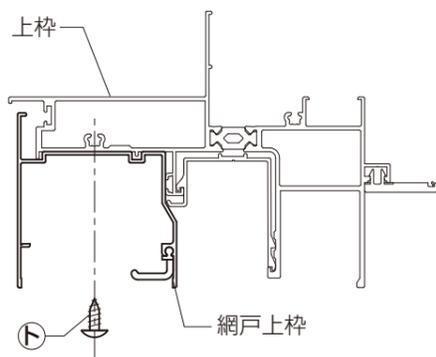
4 網戸枠の取付け

- 網戸上枠、網戸下枠は方立側に寄せてねじで固定してください。網戸ルールも方立側によせてはめ込んでください。

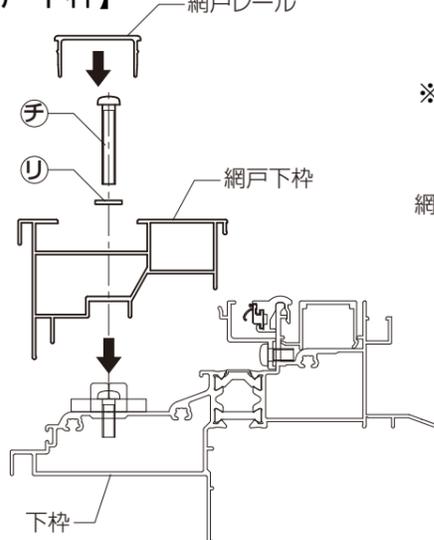
【HK】



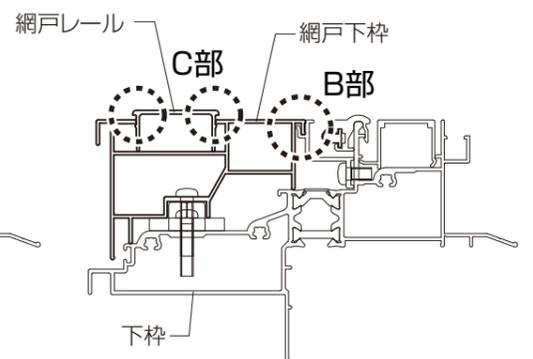
【網戸上枠】



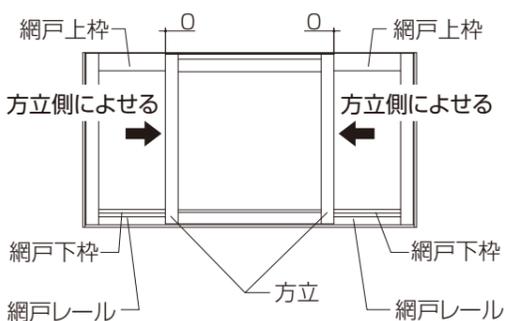
【網戸下枠】



※下図B部・C部がはまっていることを確認してください。



【HKK】



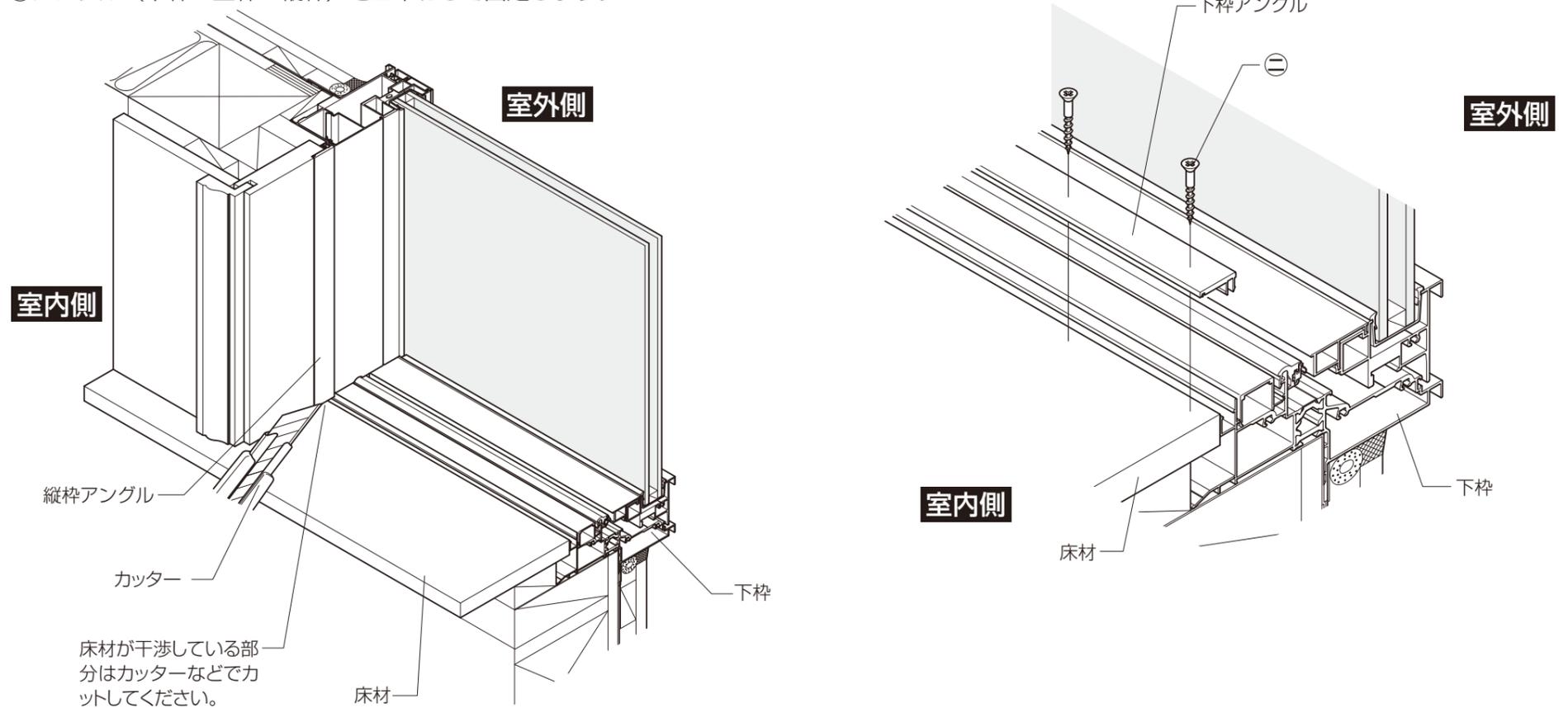
▲ 注意

●ねじは必ず指定のねじを使用して、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。

4 下枠アングルの取付け

※下枠アングルの床の高さ違いの対応範囲は±2mmです。それ以上は対応できません。又、高さ調整機能はあくまで補助的な機能ですので、床の高さは確実に出して下さい。

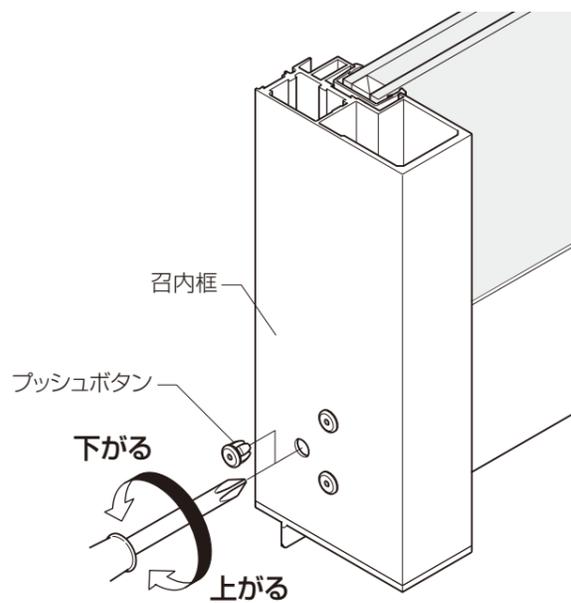
- ①縦枠アングルが床材に干渉している場合は床材に切込みを入れるか縦枠アングル下部をカットして下さい。
- ②下枠アングルを下枠に差込み、縦枠アングルとのすき間が左右均等になるように位置を合わせます。
- ③アングル（下枠・上枠・縦枠）を皿木ねじで固定します。



■建付け調整

■戸車調整

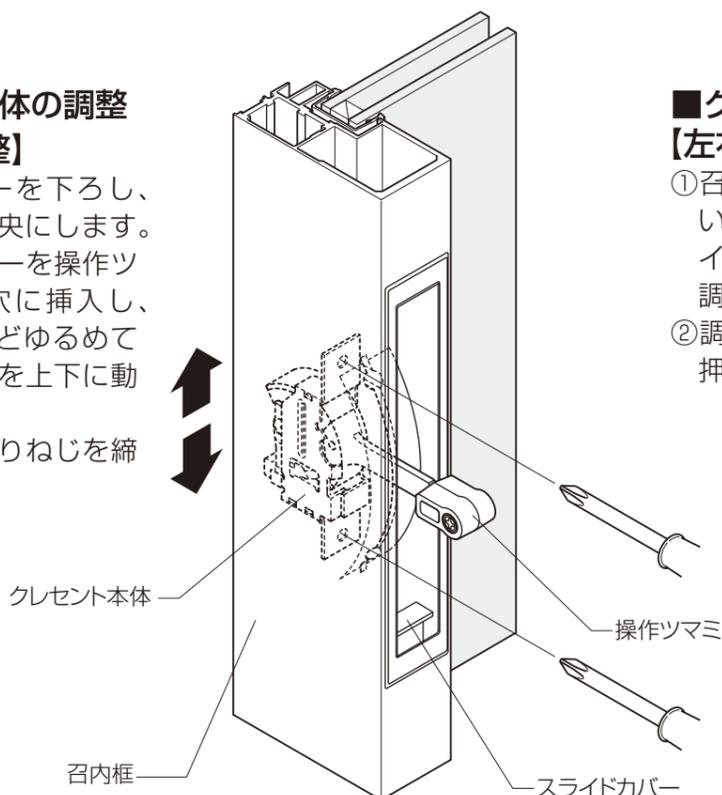
- プッシュボタンをいったん外して調整します。（調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。）
- ※出荷時、障子は下がった状態にしております。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整して下さい。



■クレセント本体の調整

【上下方向の調整】

- ①スライドカバーを下ろし、操作ツマミを中央にします。
 - ②プラスドライバーを操作ツマミの上下の穴に挿入し、ねじを1回転ほどゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めてください。



■クレセント受けの調整

【左右方向の調整】

- ①召外框のプッシュボタンをいったん外してプラスドライバーでクレセント受けを調整します。
- ②調整後、プッシュボタンを押し込んでください。

